

令和元年度 KABSE 学生研修会

1. 内容

就職活動を控える学部・修士学生、高専生を対象に、道路や橋梁をはじめとした社会基盤設備の重要性や今後の展望について、ゼネコン、建設コンサルタント、官公庁、鉄道、橋梁メーカー、メディアなどで活躍する若手・中堅技術者や女性技術者の皆さんに講演して貰います。実務内容の紹介、建設系技術者としての役割やこれから社会へ羽ばたく学生へのメッセージがメインテーマです。

2. 主催

一般社団法人 九州橋梁・構造工学研究会(KABSE)

※ 一般社団法人九州地域づくり協会の人材育成助成事業の支援を受けています。

3. 日時

2019年11月9日(土) 第Ⅰ・Ⅱ部：13:00～17:00, 第Ⅲ部：17:00～19:00

4. 場所

福岡大学 A棟 AB02号室 (七隈キャンパス)

5. 定員

第Ⅰ・Ⅱ部 100名, 第Ⅲ部 50名 (申込者多数の場合は先着順)

6. 参加費

第Ⅰ・Ⅱ部 無料

第Ⅲ部 2,000円 (飲食代として)

※ 参加者へは、交通費としてその一部を補助します。

7. 第Ⅰ部 研修会

12:15-12:45	受付	※交通費の支払いなどがあるため時間厳守のこと。
13:00	挨拶 KABSE 運営委員会委員長	貝沼 重信
13:10	(株) 鹿島建設	竹之内 綾子 氏
13:25	八千代エンジニアリング (株)	吉田 徳美 氏
13:40	福岡県	馬男木 和久 氏
13:55	九州旅客鉄道 (株)	竹之下 智行 氏
14:10	(株) 横河ブリッジ	井上 天 氏
14:25	(株) 日経 BP	眞鍋 政彦 氏

8. 第II部 パネルディスカッション, フリーディスカッション

15:00 特定のテーマに関するパネルディスカッション (第I部の会場)

16:00 (移動)

16:20 講師陣とのフリーディスカッション (第III部の会場)

9. 第III部 交流会

17:00-19:00 福岡大学内 「ひだまり」

10. 申込・問合せ先など [申込締切日: 11月1日(金)]

- ・ ①氏名, ②所属, ③学年, ④所属研究室, ⑤学生会員会員番号, ⑥メールアドレス, ⑦第I・II・III部への参加, (④・⑤は該当者のみお知らせ下さい。) なお, 研究室単位で申込頂ければ幸いです.
- ・ 当日, KABSEの学生会員として登録をお願いさせて頂く予定です.
一般社団法人 九州橋梁・構造工学研究会 事務局 進野久美子
〒810-0004 福岡市中央区渡辺通 1-1-1 サンセルコビル 6F
TEL/FAX 092-737-8570 E-mail: jim@kabse.com

KABSE

「誇る」
「造る」

学生研修会

日時 | 2019年11月9日(土)
13:00 ~ 19:00

会場 | 福岡大学七隈キャンパス
A棟 AB02号室

本研修会の詳細は右記 QR コードよりご確認ください。



写真:「関門橋」

- 主催：一般社団法人 九州橋梁・構造工学研究会*
- 会場：福岡大学 A棟 AB02号室（七隈キャンパス）
- プログラム：第Ⅰ部 13:00～14:40 各業界説明
第Ⅱ部 15:00～16:00 パネルディスカッション
（福岡大学内「陽だまり」に移動）
16:20～17:00 フリーディスカッション
第Ⅲ部 17:00～19:00 懇親会
- 定員：第Ⅰ・Ⅱ部 100名（参加無料）
第Ⅲ部 50名（飲食代として2000円程度徴収致します。）
※参加者へは交通費としてその一部を補助致します。

※一般社団法人九州地域づくり協会人材育成助成事業の支援を受けています

- 申込方法等
以下の必要事項を明記の上、下記連絡先へメールでお申し込みください。
①氏名②所属③学年④所属研究室⑤学生会員会員番号⑥メールアドレス
⑦第Ⅰ部、第Ⅱ部のそれぞれの参加を申込時にご連絡ください。
④、⑤は該当者のみお知らせください。
なお、研究室単位で申込頂ければ幸いです。【申込締め切り 11/1（金）】
宛先 / 〒810-0004 福岡市中央区渡辺通 1-1-1 サンセルコビル 6F
一般社団法人 九州橋梁・構造工学研究会 事務局 進野久美子
TEL,FAX/092-737-8570
E-mail/jim@kabse.com

講師の紹介



九州旅客鉄道(株)
竹之下 智之氏



(株)横河ブリッジ
井上 天氏



鹿島建設(株)
竹ノ内 綾子氏



(株)日経BP
真鍋 政彦氏



八千代エンジニアリング(株)
吉田 徳美氏



福岡県
馬男木 和久氏

例年好評をいただいている「KABSE 学生研修会」が 2019 年 11 月 9 日（土）に福岡大学にて開催された。この研修会は、2006 年から年 1 回のペースで開催しており今年で 14 回目を迎えた。学生研修会とは、就職活動を控える学部生、修士学生、高専生を対象に、道路や橋梁をはじめとした社会基盤設備の重要性・現状・今後の展望について、ゼネコン、橋梁メーカー、建設コンサルタント、電力、鉄道、官公庁などで活躍する若手・中堅技術者の講演を柱の一つとしており、これから社会へ羽ばたく学生へのメッセージをメインテーマとしている。本年度は、6 名の講師に登壇いただき、各業界の仕事内容の他、1 日のタイムスケジュール、自身のモチベーションの変化、各業界で必要とされる資格、また、各々の立場や経験を踏まえて働くことの意義についても講演いただいた。さらに、本研修会では、九州内の学生相互のネットワークを育成して、土木建設業への関心を高めて貰い、将来の九州の若手技術者を連携することも目的の一つである。また、今年度より学生委員を運営に参画させ、学生研修会の企画・運営を社会人と共に担い、学生研修会に参加する学生にとってより有益となる研修会を目指した。

第Ⅰ部（13:00～15:00）では例年通り、まずは KABSE の概要や取り組みについて、KABSE 運営委員長の貝沼重信先生（九州大学）に報告いただいた。その後、竹之内綾子氏（(株)鹿島建設）、吉田徳美氏（八千代エンジニアリング(株)）、馬男木和久氏（福岡県）、竹之下智行氏（九州旅客鉄道（株））、井上天氏（(株)横河ブリッジ）、眞鍋政彦氏（(株)日経 BP）の第一線で活躍されている 6 名の講師に講演頂いた。第Ⅱ部（15:00～17:00）では、学生委員により立案された講師陣とのパネルディスカッションおよびフリーディスカッションを行った。学生委員のコーディネートにより、参加学生が自身の将来などについて社会人とより積極的に議論することができ、大いに盛り上がった。第Ⅲ部（17:00～19:00）では、第Ⅱ部の熱を引き継いだ状態で講師と学生の立食形式による懇親会を催したことで、学生が社会人と例年以上に交流することができた。

参加者数は、第Ⅰ部、Ⅱ部は学生 67 名、社会人 20 名（講師 6 名、他 14 名）、第Ⅲ部は学生 39 名、社会人 20 名と賑わいをみせた。例年と比較すると学生の参加者数は少なかったものの、社会人一人当たり 3 名程度の学生となり、より身近に社会人と学生が交流できたものと思われる。参加した学生は写真にも示すように活発に社会人に質問し、自身の将来の進路選択に大いに役立てていることが感じられた。

ここで、学生研修会の実施後のアンケート結果の一部を紹介したい。まず KABSE の認知度について、参加時点で KABSE を知っている学生が今年度は 48%と、昨年度の 47%とほぼ同様である。また、学生研修会への参加の動機は、「先生からの案内」が一番多かったが、「内容で判断」と答える学生も多く、各大学・高専で過去に参加した先輩達から本研修会の内容が有益であったことを後輩達に伝わっている証であると考えられる。

以下に講演に関する意見・感想の自由コメント（原文のまま）をいくつか紹介する。ほとんどすべての参加者が「参加してよかった」というポジティブな感想であったが、なかには今後の要望を挙げている学生もおり、今後の企画・運営に反映させていきたいと考えている。

- 普通の説明会に比べて、社員の方の個人の話が具体的で、印象的でした。ある一日

に密着して業務を見せてもらえると、よりイメージしやすく面白いと思いました。

- ゼネコン、コンサル、自治体に関しては今までお話を聞いてきたのでよくわかっていたつもりでしたが、公益企業や土木業界の雑誌編集については、ほとんど知らなかったので大変興味深かったです。特に第Ⅱ部のパネルディスカッションでは、様々な方向性のお話が聞けて良かったです。
- ディスカッションをもっと講師同士で行った方が良かったと思います。
- 女性の活躍について知れたことがとても役立ちました。この業界へ進むことへの不安の一つが、女性が働くことは困難なのではないか（出産・育児等）という事だったので、出産、育児を経て働いていらっしゃる竹之内さんの経歴を学べて良かったです。

学生研修会に参加した学生たちが社会に巣立ち、九州を中心とした若い世代のネットワークが広がることを期待して、広報活性化小委員会としては今後も本研修会を継続していくことで、学生のキャリアプランや就職活動に対して有益な情報を提供していこうと思う。

最後に、会場を提供して頂いた福岡大学の渡辺浩先生、樋原弘貴先生、下妻達也先生をはじめ、ご協力頂いた関係各位に深く感謝したい。なお、今年度の研修会は一般社団法人九州地域づくり協会の人材育成助成事業からの助成支援を受けて開催された。重ねて謝意を表す。



写真-1 第Ⅰ部

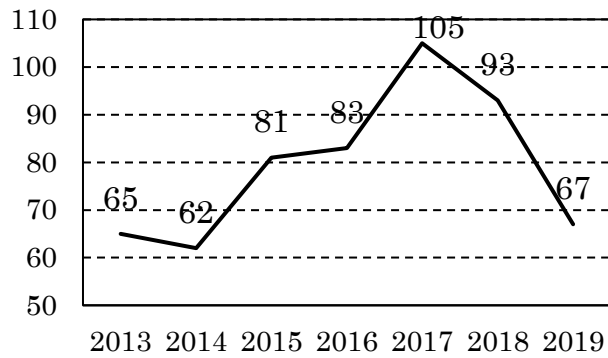


写真-2 第Ⅱ部

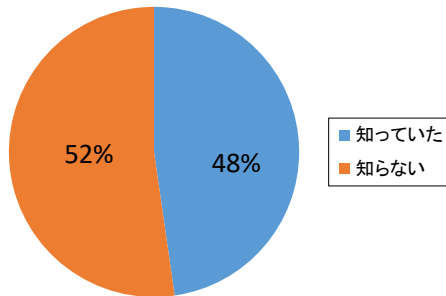


写真-3 第Ⅲ部

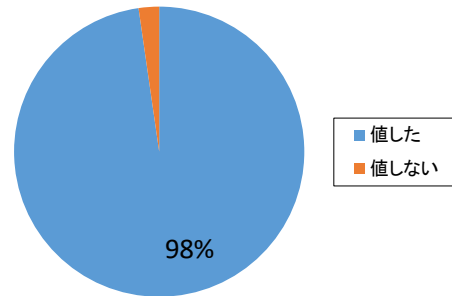
第 I 部出席者の推移 (2013～2019)



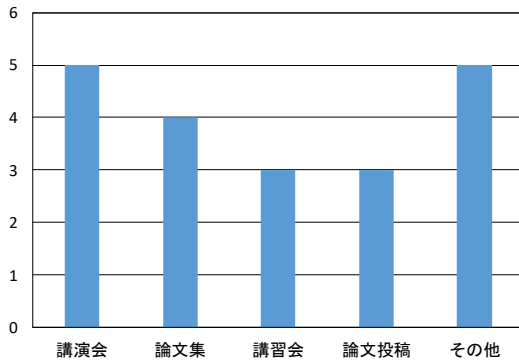
KABSEの認知度について



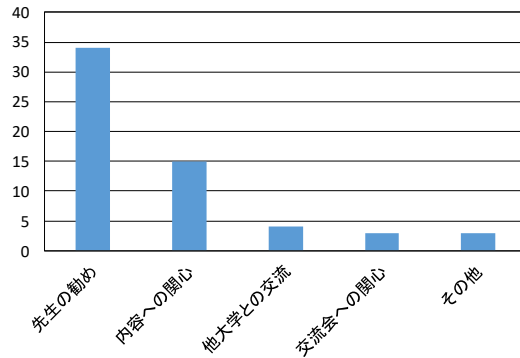
参加するに値したか？



KABSEとのつながり



参加の動機 (複数回答可)



今後希望するイベント・内容 (複数回答可)

